

# 児童養護施設職員としての『やりがいⅠ』

## もし、あなたが・・・

小学校高学年のころ

両親からひどい虐待を受けて、児童養護施設で生活することになり、  
両親から見捨てられた。

< あなたなら、この状況下で夢や目標は描けますか？ >

ただ、この子は、学校生活、施設生活、勉強に努力した。

< そして、大学進学の可能性をつかみ取った。 >

(一般家庭での大学や専門学校の進学率は77%、  
児童養護施設出身者の進学率は、22%の状況下)

ただ、4年間私立大学900万円、国公立大学750万円の生活費と学費が必要。  
両親からの援助はまったくなし。奨学金とアルバイトで費用のすべてを  
補わなければならない。私立大学は、不可能な状況で浪人も絶対に許されない。

< 国公立大学前期試験不合格、残る道は後期試験にすべてを懸けるのみ... >

この一瞬のために…『幸せ』の共有



# 児童養護施設職員としての『やりがいⅡ』

大学の合格を決めてからも、さらなる困難がありました・・・。

## < 住む場所がない！ >

保証人がいなのでアパートを借りられない・・・

「事情は分かりますが...」と賃貸業者に9件断られました。

途方に暮れる中、ダメもとで10件目にあたりました。

「そんなに苦労して、頑張ってきた学生さんなら、大丈夫ですよ！」

そうして、彼の大学生活は無事にスタートすることができました。  
アルバイトと学業の両立は、周りの大学生よりもはるかに苦労しましたが、

## < 現在大学4年生 >

就職の内定が決まりました。内定先は大手の「賃貸業者」

理由は明確で「自分も困っている人の役に立てる仕事がしたい!」

我々の仕事は、

「子どもと共に困難を乗り越えて、希望を育てること」  
そして、『負の連鎖を断ち切ること』